

第142号議案 令和4年度長崎市一般会計補正予算（第10号）

目次	ページ
1 新型コロナウイルス感染症対策費（4.1.4） ……	3～5
2 動物管理対策費（4.1.8） ……	6～7
3 特別会計に対する一般会計繰出金（4.1.11） ……	8～9

市民健康部

令和4年11月

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
26~27	4 衛生費	1 保健衛生費	4 予防費	1-1	新型コロナウイルス 感染症対策費	千円 1, 122, 871

1 概要

新型コロナウイルス感染症について、過去最多の感染者数となった第7波に続き、今後、第8波が予想される中、PCR検査等の実施や陽性者に対する適切な医療の提供に係る費用などに不足が生じることが見込まれるため、必要な費用の増額補正を行うもの。

2 事業内容

(1) PCR等検査費 343,174千円

発熱等の症状で、保険診療によって検査を受けた方の検査費用の自治体負担分や施設でのクラスター発生等における包括検査の検査費用を負担する。

ア 行政検査費用

年間費用見込み	1,010,952千円(206,208件)
【内訳】 4~6月分実績	166,944千円(28,253件)
7~9月分実績	341,428千円(71,988件)
10~3月分見込	502,580千円(105,967件)

イ 予算現額 667,778千円

ウ 補正額(ア-イ) 343,174千円

(2) 入院医療費 611,988千円

新型コロナウイルス感染症の陽性者のうち、入院が必要となった方の入院医療費の自己負担分を負担する。

ア 入院費用[入院者自己負担分]

年間費用見込み	1,669,555千円(6,370件)
【内訳】 9月までの支払実績※	260,177千円(953件)
10月からの支払見込	1,409,378千円(5,417件)

イ 予算現額 1,057,567千円

ウ 補正額(ア-イ) 611,988千円

※入院費用の支払いは、入院患者の退院後に、本人からの申請に基づき処理を行うため、9月までの支払実績における処理件数と入院患者数とは合致しない。

(3) 長崎地域外来・検査センターの運営 102,558千円

効率的に行政検査ができるドライブスルー方式の検査センターを長崎市夜間急患センターの巡回診療方式として設置し、指定管理者である長崎市医師会に委託している。検査数は年間5,916件を見込んでいたが、9月までの検査実績が既に超過していることなどから、不足する費用を増額する。

ア 年間費用見込み 246,247千円 (217日稼働、検査数 16,526件)
 【内訳】 4月～9月実績 (101日稼働、検査数 7,802件)
 10月～3月見込 (116日稼働、検査数 8,724件)
 イ 予算現額 143,689千円
 ウ 補正額(ア-イ) 102,558千円

(4) 自宅療養者に対する健康観察等の保健所業務委託 65,151千円

ア 自宅療養支援業務委託 23,233千円
 自宅療養者(新型コロナウイルス感染症の陽性者のうち、自宅等で療養している者)に対する、療養期間中における各種支援に係る業務を委託することで、保健所の更なる業務効率化を図る。

(支援内容)

- ・食料等生活支援セットの調達、配送
- ・パルスオキシメーターの配送、回収
- ・宿泊療養施設への入所調整及び入所者への連絡

イ 電話相談受付等業務委託 38,500千円
 保健所が健康観察等を行わない発生届の対象外となる陽性者からの電話相談受付を24時間体制にしたことにより、不足する費用を増額する。

ウ 夜間における受診先調整等業務委託 3,418千円
 夜間における自宅療養者等からの緊急受診要請時に、緊急受診先の病院等との受診調整業務を委託する。

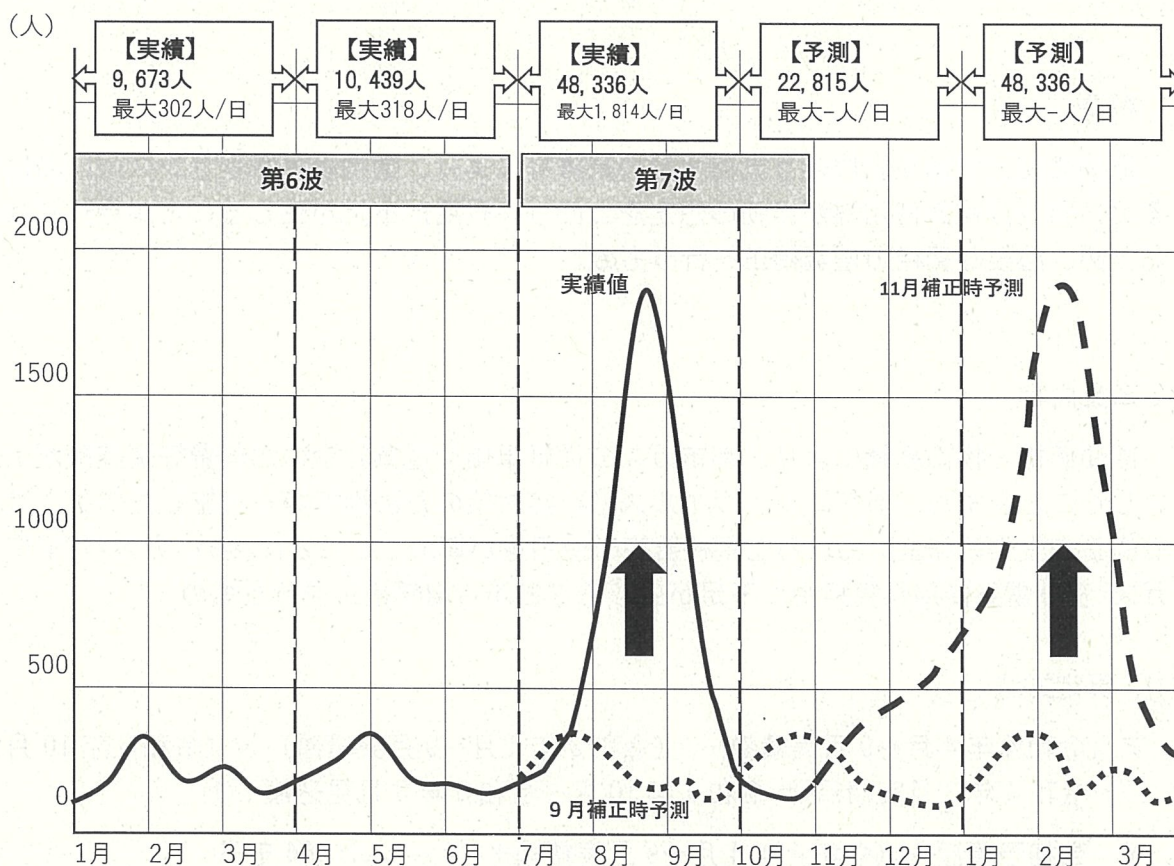
3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金 ※1	県支出金 ※2	地方債	その他 ※3	一般財源 ※4
千円	千円	千円	千円	千円	千円
1,122,871	630,578	65,151	—	102,558	324,584

- ※1 感染症予防事業費等国庫負担金
 PCR等検査費 1/2 171,587千円
 入院医療費 3/4 458,991千円
 ※2 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金 10/10 65,151千円
 ※3 長崎地域外来・検査センター使用料
 ※4 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金算定対象

(参考) 新規陽性者数等の実績及び今後の予測について

—— : 実績値 : 9月補正時予測 - - - : 11月補正時予測



9月補正時の予測を大きく上回り、第7波は過去最多の感染者数となった。
今年度中に再度、第7波と同程度の感染拡大が発生すると想定した。

(単位：人)

月	実績			見込	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
陽性者	9,673	10,439	48,336	22,815	48,336
入院者	865	502	1,277	594	1,277
割合(%)	8.9	4.8	2.6	2.6	2.6

※9/9の全数把握の見直しにより、それ以降の陽性者数は推計値

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
26~27	4 衛生費	1 保健衛生費	8 環境衛生費	1-1	動物管理対策費	千円 1,464

1 概要

原油価格・物価高騰に伴う光熱水費の高騰等により、動物愛護管理センターにおけるガス料及び電気使用料が当初の想定を上回り、費用に不足が生じることが見込まれるため、必要な費用の増額補正を行うもの。

2 事業内容

原油価格・物価高騰により、都市ガスの従量単価や電気料金の燃料費等調整額が上昇したこと、また、新型コロナウイルス感染症対策のため換気等を実施した結果、犬猫飼養施設や執務室における空調機器等の使用量が増加したことに伴い、ガス料(都市ガス)及び電気使用料負担金に不足が生じることから増額補正を行うもの。

(1) 算定方法

ア (令和4年4月~9月実績額) / (令和3年4月~9月実績額) × (令和3年10月~令和4年3月実績額) = 令和4年10月~令和5年3月見込額…①

イ 当初予算額 - (令和4年4月~9月実績額 + ①) = ▲1,464千円

(2) 補正の内訳

区分	予算現額	支出見込額	補正額
10節 需用費			
ガス料(都市ガス)	2,185千円	3,366千円	1,181千円
18節 負担金、補助金及び交付金			
電気使用料負担金※	1,199千円	1,482千円	283千円

※動物愛護管理センターの電気使用料については、クリーンながさきと按分し、クリーンながさきに対し負担している。

基本使用料：契約容量比で按分

使用量料金：主メーターによる料金を、それぞれの小メーターによる使用量比で按分

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 1,464	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 1,464

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
28～29	4 衛生費	1 保健衛生費	11 診療所費	1-1	国民健康保険事業特別会計繰出金(直営診療施設勘定)	千円 1,887

1 概要

高島国民健康保険診療所の常勤医師が、令和4年9月末で退職し、令和4年10月から応援医師を派遣する必要があり、応援医師の派遣に要する費用が増となったことから、一般会計からの繰出金を増額補正するもの。

(1) 特別会計歳出

区分	予算現額 A	補正額 B	補正後額 A+B
施設管理運営費	79,758 千円	1,887 千円	81,645 千円

(2) 特別会計に対する一般会計繰出金

区分	予算現額 A	補正額 B	補正後額 A+B
繰出金	64,158 千円	1,887 千円	66,045 千円

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
28～29	4 衛生費	1 保健衛生費	11 診療所費	1-2	診療所事業特別会計繰 出金	千円 8,991

1 概要

池島診療所及び小口診療所において実績確定により令和3年度長崎県へき地医療対策費補助金に返還が生じたこと、また、野母崎診療所において令和4年10月1日付人事異動に伴う職員給与費の増及び原油価格・物価高騰等に伴う光熱水費の増により、予算に不足が生じることが見込まれるため、一般会計からの繰出金を増額補正するもの。

(1) 特別会計歳出

ア 池島診療所

区分	予算現額 A	補正額 B	補正後額 A+B
償還金	1千円	605千円	606千円

イ 小口診療所

区分	予算現額 A	補正額 B	補正後額 A+B
償還金	1千円	64千円	65千円

ウ 野母崎診療所

区分	予算現額 A	補正額 B	補正後額 A+B
職員給与費	105,993千円	5,192千円	111,185千円

区分	予算現額 A	補正額 B	補正後額 A+B
施設管理運営費	64,500千円	3,130千円	67,630千円

(2) 特別会計に対する一般会計繰出金

区分	予算現額 A	補正額 B	補正後額 A+B
繰出金	226,582千円	8,991千円	235,573千円